

第10回 令和3年度

公益社団法人福島県診療放射線技師会定時総会議案書（書面表決）

新型コロナウイルス感染拡大による集会等の自粛要請を考慮し、異例ではありますが、定款第20条に基づき書面での定時総会の開催とします。この総会議案書をお読みになりご確認ください。

また、書面表決書を同封致しますので署名・押印と、各議案毎に「賛成・修正・否決」の該当する項目に○を記載する事を必ずお願いいたします。

定時総会へのご意見等がありましたら、各地区協議会や理事までお知らせください。直接、福島県診療放射線技師会HPへメールしていただいても構いません。なお、一般公開講演や各表彰伝達も中止といたします。

結果については、各理事、福島県診療放射線技師会HPや福島放技ニュースにてお知らせいたします。会員の皆様のご理解とご協力を宜しくお願いいたします。

議 事

- 1.報告事項 令和2年度事業報告について
- 2.第1号議案 令和2年度決算報告について
- 3.報告事項 令和2年度監査報告について
- 4.第2号議案 令和3年度事業計画案について
- 5.第3号議案 令和3年度予算案について
- 6.第4号議案 定款改定（事務所所在地の移動 福島市から郡山市）
- 7.第5号議案 会員除名について
- 8.第6号議案 令和3－4年度理事・監事の選任について
- 9.第7号議案 会長・副会長の選出について
- 10.第8号議案 その他

書面表決書 締め切り期日 令和3年5月27日（木）17時着まで

令和 2 年度事業報告

総括

令和元年末より新型コロナウイルス（COVID-19）が猛威を振るい、全世界的に脅威になっている。人の集まりや外出が制限され、研究会や学会が延期または中止となる事態が進み、福島県診療放射線技師会の活動にも多大な影響があった。福島県診療放射線技師会定時総会開催も「書面表決書 兼 委任状」という形を余儀なくされた。当会としては、日本放射線技術学会の COVID-19 感染防止に関する基本方針に則って活動する事にした。今後は、福島県診療放射線技師会活動も含めてパラダイムシフトが必要になって来る。理事会も電磁的承認と補助的に Web 会議を行った。各研究会でも You Tube 等を使ったネット開催が増加している。

日本診療放射線技師会は、会長が交代して風通しの良い組織となった。高い賃貸の一等地から事務所を移転し、その他節約により会費の減額を行った事は大いに評価出来る。

東日本大震災及び原発事故から 10 年が経過した。福島県原子力防災住民避難訓練は、年々、規模が縮小される傾向にあり危惧している。今回は、緊急連絡体制の訓練や避難してきた住民やバスのスクリーニング訓練は中止となった。放射線管理士部会には、今後も被ばく低減施設の推進や医療被ばく管理等についても啓発をお願いしたい。

令和 2 年度は昨年度からの継続で活動を進めて来たが、上述したように集合的な研究会等に大きな制限がかかり、Webex 法人版を購入して理事会や各地区協議会、研究会で利用した。各地区の健康まつりやピンクリボン活動等も今年度は、COVID-19 の影響で中止が相次いだ。

福島県診療放射線技師学術大会は、2 月に動画配信を行った。一般公開講演は、福島医大保健科学部久保教授による「ふくしまで診療放射線技師になる！」と、特別講演で、日本診療放射線技師会上田会長による「これからの診療放射線技師像 - 協働・連携によるチーム医療と診療放射線技師の業務拡大」を YouTube で配信した。

第 10 回東北放射線医療技術学術大会（TCRT2020）は、放射線技術学会との共催で令和 2 年 11 月 14-15 日にコラッセふくしまで開催する予定で、実行委員等を選出して放射線技術学会と開催準備を進めたが、COVID-19 の影響を鑑み中止とした。なお、改めて第 11 回東北放射線医療技術学術大会（TCRT2021）を来年度開催する事にした。ただ、通常開催は難しく、ハイブリッド開催を含めた仮想空間を使う新しい形を模索することにした。

福島県立医科大学に診療放射線技師養成を含む新学部が令和 3 年 4 月に開校した。県内に養成学校が開設する事は歓迎すべき事であり、今後も良好な関係を保って行きたいと考えている。

長年の懸案であった事務所取得の件は数年前より WG を起ち上げて事務所候補物件を探し、最終的に郡山市内の 2 件に絞り実際に物件の視察を行い検討した。第 2 回理事会で購入提案が承認され、購入する運びとなった。定時総会での定款改正後に、正式に「事務所兼研修センター」として使用開始することとし、リフォーム工事及びハウスクリーニングも終了している。備品等については、今後徐々に揃えて行きたい。備品購入や水道・地震保険立会い等に際して、事務職員の必要性を強く実感した。更に、事務局や一部の理事等への会務の大きな負担を軽減するためにも、パート事務員の採用を検討し実現する。

令和 2 年度も会員及び助会員のご支援やご協力で、本会の事業を進める事ができた。これからの公益社団法人としての使命の遂行に務めて行くので、変わらないご支援をお願いする。

令和2年度事業報告

1. 定款に基づく事業

(1) 診療放射線技術の向上発展に関する事業

<講演会・講習会等>

1) 第33回福島県臨床画像研究会（共催）

COVID-19による影響で開催中止

2) 医療情報通信技術セミナー（MICS）

COVID-19による影響で開催中止

3) 福島救急撮影カンファレンス

第11回福島救急撮影カンファレンス（FEIC）

開催日 令和3年3月6日（土） 開催場所 Webex

参加者 74名（内会員不明）

内 容 情報提供①「救急現場でのザイオステーション」 アミン(株) 林 真平

教育講演「骨関節撮影 UPDATE -こんな時に自分なら?-」

奥州市総合水沢病院 高橋 伸光 氏

情報提供②「救急現場で活躍するCTソリューション」

キヤノンメディカルシステムズ(株) 佐藤 靖朋

特別講演「救急の現場で『機能』を救う！～画像所見から良好な機能予後に繋げるために～」

福島県立医科大学救急医療学講座 反町 光太郎 先生

4) Fukushima ANgio Technology seminar

6th FANTA

開催日 令和2年2月27日（土） 開催場所 Webex

参加者 200名（県内65名）（内会員不明）

内 容 「Hi!BACK ⇐ TO THE FUTURE」

結局さ、今後の被ばく管理ってどうすればいいの？

竹田総合病院 後間 祐介
福島赤十字病院 海藤 隆紀

被ばくのことちょー簡単に教えてよ!!看護師さん

栢記念病院 飯島 涼香
太田西ノ内病院 瀧田 幸子

今さら聞けない!!カテの被ばく低減方法の伝授!!

たむら市民病院 国分 達郎

FANTA 恒例!!JAPIR 認定技師試験解説!

白河厚生総合病院 柳沼 武

DRLs2015→2020 変更点まとめてみた。

星総合病院 井戸沼 俊英

ぶっちゃけDRLsの活用ってどうすればいいの??

いわき市医療センター 石川 智大
栢記念病院 佐藤 真司
総合南東北病院 三瓶 孝

<分科会・部会活動>

5) CT 分科会

福島県 CT テクニカルセミナー

COVID-19 による影響で開催中止

6) MRI 分科会

①第 20 回 MRI 技術研究会

COVID-19 による影響で開催中止

7) 画像技術分科会

福島県デジタル画像研究会

COVID-19 による影響で開催中止

福島県画像技術研究会

COVID-19 による影響で開催中止

8) 乳腺画像分科会

第 20 回福島県乳腺画像研究会

COVID-19 による影響で開催中止

9) 放射線治療分科会

①第 44 回福島県放射線治療技術研究会

開催日 令和 2 年 10 月 31 日 開催場所 ZOOM により Web 開催

参加者 43 名 (会員 27 名、非会員 12 名、一般 4 名)

内容・ミニレクチャー

『線量処方“あれ”“これ”』 講師 福島県立医科大学附属病院 岡 善隆 先生

・会員話題提供 1 13:30-14:35 座長 太田西ノ内病院 小坂橋健一

1. 患者が FOV 中心に Setup されていない場合の CBCT の被ばく線量測定

福島県立医科大学附属病院 宮岡裕一

2. 吸引式固定具は骨盤部の位置再現性を向上させるか

福島県立医科大学附属病院 星 佑樹

3. レクセルガンマナイフ「Icon (アイコン)」の紹介

総合南東北病院 秋山俊一

4. リニアック更新の近況報告

坪井病院 本間優一

・会員話題提供 2 14:45-15:50

5. 治療計画装置を用いた事前線量検証ってあり?

福島県立医科大学附属病院 岡 善隆

6. 第 3 回 IMRT 治療計画トライアルに参加してみた

太田西ノ内病院 庭山 洋

7. Tomotherapy における乳房温存照射

北福島医療センター 星野 勝

8. 小児陽子線治療の実績報告

南東北がん陽子線治療センター 鈴木正樹

・会員話題提供 Short Farmer

9. 電離箱線量計について

福島県立医科大学附属病院 長澤陽介

10. やっとはじめました 前立腺 IMRT

福島労災病院 佐々木亮浩

11. 骨転移について

白河厚生総合病院 鈴木広志

12. SRMapCHECK を使用してみました

福島県立医科大学附属病院 大宮雄大

10) 福島県放射線管理士部会

COVID-19 による影響で開催中止

11) 各地区協議会研究会等

①2020 年度 会津地区乳房研究会

COVID-19 による影響で開催中止

②県南地区協議会サマーセミナー

COVID-19 による影響で開催中止

③県北地区協議会夏季勉強会

COVID-19 による影響で開催中止

④浜通り地区協議会夏季研修会

COVID-19 による影響で開催中止

⑤第 102 回会津画像研究会

開催日 令和3年3月3日 開催場所 Webex

参加者 33名(内会員27名)

内容 各施設のCOVID-19患者への撮影対応

1. 会津中央病院 小沼 慎一郎
2. 竹田総合病院 千葉 沙織
3. 会津医療センター 吉田 賢

⑥ 県南地区新年勉強会

開催日 令和2年1月30日 開催場所 Web 開催

参加者 52名(内会員42名、賛助会員10名)

内容 メーカー話題提供

COVID-19 関連治療薬情報

「新型コロナウイルス治療薬の現状」 富士フイルム富山化学 野村 伸彦 氏

COVID-19 関連製品紹介

1) ハイドロエージェープラス (Hydro Ag+)

富士フイルムメディカル(株) 白旗 朝生 氏

2) 低濃度ワゴン発生装置 エアネスシリーズ (エアネスII、エアネスS、エアネスクット)

酒井医療(株) 刈谷 亮太 氏

3) 紫外線照射装置 MoonBeam3

フジデノロ(株) 生井 尊行 氏

施設発表 -COVID-19に対する取り組み-

- 1) いわき市医療センター 折笠 秀樹
- 2) 太田西ノ内病院 孔 秀和
- 3) 会津医療センター 伊藤 光希
- 4) 白河厚生総合病院 石森 光一

(2) 診療放射線に関する知識の普及啓もうに関する事業

1) 一般公開講演会(主催)

① 定時総会時の一般公開講演

COVID19の影響で開催中止

② 学術大会前の一般公開講演

第10回東北放射線医療技術学術大会開催予定のため、学術大会として開催

2) リレー・フォー・ライフ・ジャパン2019福島に広告掲載

COVID19の影響で開催中止

3) 健康フェスタ2020(福島市)

COVID19の影響で開催中止

4) ファミリーフェスタ郡山2019

COVID19の影響で開催中止

5) 第35回会津若松市健康まつり

COVID19の影響で開催中止

6) 乳がん啓発キャンペーン「ピンクリボン in 郡山2020」

COVID19の影響で開催縮小となり技師会不参加

7) メディカルクルエーションふくしま2020(共催)

開催日 令和2年10月15-16日 開催場所 ネット上 特設サイト

(3) 診療放射線による検査向上および職業倫理の高揚に関する事業

1) フレッシュアップセミナーの開催(日放技からの業務委託)

開催日 令和3年2月23日 開催場所 ZOOM

参加者 7名

内容 新人診療放射線技師を対象にして、医療者として必要な医療安全学、医療感染学、エチケット・マナー及び、診療放射線技師として知っておくべき基礎知識の講習を行った。

2) 第10回東北放射線医療技術学術大会（共催）

開催日 令和2年11月14-15日 開催場所 福島市
テーマ 「2nd Impact」～協調、そして融合へ～
COVID-19による影響で開催中止

3) 令和2年度福島県放射線技師学術大会の開催（主催）

開催日 令和3年2月15日-28日 開催場所 YouTube
参加者名（視聴回数） 一般公開動画：視聴回数211回
限定公開動画：視聴回数140回

内容 一般公開講演「ふくしまで診療放射線技師になる！」

福島県立医科大学保健科学部 久保 均 教授

特別講演「これからの診療放射線技師像 -協働・連携によるチーム医療と診療放射線技師の業務拡大」
日本放射線技師会 上田 克彦 会長

5) 第5回 東北地区合同勉強会（共催）

COVID-19による影響で開催中止

(4) 診療放射線技術を通じて地域医療の推進に関する事業

1) X線アナライザー「ピラニア」とサーベイメーターの貸し出しと精度管理

事業内容 各地区ローテーションに加え随時貸し出し

2) 令和元年度福島県原子力防災住民避難訓練の会議等

①令和元年度危機管理対策連絡会及びみちのくALERT第1回調整会議

COVID-19による影響で開催中止

3) 原子力安全協会 避難解除地域帰還者WBC想定結果説明要員の派遣

①田村市「WBCによる内部被ばく線量測定」

開催日 令和2年10月31日 開催場所 田村市都路町 地見城多目的集会施設
参加者 会員2名

(5) その他の目的を達成するために必要な事業

1) 第9回（2020年度）公益社団法人福島県診療放射線技師会定時総会

開催日 令和2年5月30日（土）

開催場所 太田西ノ内病院 内容 会員総数685名中、出席者7名と委任状515名で計522名の出席で開催され、提案された議案は全て原案通り可決された。

2) 理事会の開催

令和2年6月4日 令和2年度第1回理事会 (電磁的開催及び承認)

令和2年7月17日 令和2年度第2回理事会 (電磁的開催及び承認・補助的にWeb会議)

令和2年9月18日 令和2年度第3回理事会 (電磁的開催及び承認・補助的にWeb会議)

令和2年12月11日 令和2年度第4回理事会 (電磁的開催及び承認・補助的にWeb会議)

令和3年3月12日 令和2年度第5回理事会 (電磁的開催及び承認・補助的にWeb会議)

3) 各地区協議会会議の開催

①全体会（総会）

令和2年5月8日 県北地区（福島県立医科大学附属病院）

出席者2名、会員数194名中、委任状167名

令和2年5月13日 浜通り地区（南相馬市立総合病院） 会員数175名中、委任状153名

令和2年5月23日 会津地区（ホテルニューパレス）

出席者8名、会員数94名中、委任状72名

令和2年5月29日 県南地区（星総合病院） 出席者8名、会員数214名中、委任状196名

②地区協議会委員会

令和2年5月13日 第1回浜通り地区協議会委員会 (南相馬市立病院及びweb開催)

令和2年6月24日 第1回県南地区協議会委員会 (星総合病院及びWeb開催)

令和2年8月26日	第1回会津地区協議会委員会	(竹田綜合病院)
令和2年11月12日	第1回県北地区協議会委員会	(福島県立医科大学附属病院)
令和2年11月17日	第2回県南地区協議会委員会	(星綜合病院及びWeb開催)
令和2年12月23日	第2回浜通り地区協議会委員会	(南相馬市立病院及びweb開催)
令和2年2月24日	第3回浜通り地区協議会委員会	(南相馬市立病院及びweb開催)
令和2年2月26日	第3回県南地区協議会委員会	(太田西ノ内病院) ?
令和3年3月5日	第2回県北地区協議会委員会	(福島県立医科大学附属病院)
令和3年3月10日	第2回会津地区協議会委員会	(竹田綜合病院合及びWeb開催)
令和3年3月24日	第4回浜通り地区協議会委員会	(南相馬市立病院及びweb開催)

4) その他

①県原子力防災通信訓練

通信訓練テスト	開催日	令和2年7月6日
第1回通信訓練	開催日	令和2年7月13日
第2回通信訓練	開催日	令和2年10月13日
第3回通信訓練	開催日	令和2年11月25日

5) 委員会の活動

①総務企画委員会

電磁的な委員会開催 令和2年年度事業計画案・予算案の審議等

②表彰委員会

日本診療放射線技師会 永年勤続(50年)表彰者推薦の審査
 令和2年度(公社)日本診療放射線技師会 永年勤続(30年)表彰者推薦の審査
 令和2年度(公社)福島県診療放射線技師会 永年勤続(20年)表彰の審議・決定
 (公社)福島県診療放射線技師会功労表彰者の決定
 叙勲候補者の推薦審査

③学術委員会

令和2年度福島県放射線技師学術大会の開催・企画・運営
 令和2年度学術委員会
 日時 令和2年11月14日 開催場所 事務所兼研修センター
 日時 令和2年12月21日 開催場所 Web会議(技師会所有Webex使用)
 日時 令和3年2月7日 開催場所 事務所兼研修センター

④ネットワーク委員会

福島県診療放射線技師会ホームページの更新作業(各研究会案内・求人依頼等)
 各委員会及び各地区協議会メーリングリストの運営管理
 メールマガジンの発行
 各委員会・各地区協議会の共有ファイルシステムの構築

⑤精度管理委員会

Piranhaの2台体制での貸し出し開始(4月1日～)
 Piranha Puremium ②Piranha657
 地区ローテーションと貸し出し期間及び2機種のパフォーマンスの違いをHPに掲載
 その他の測定器(電離箱、GM、シンチレーションサーベイメーターの貸し出し)

⑥編集広報委員会

会報の発行 第57号
 福放技ニュースの発行 177-181号
 10周年記念誌の作成継続

⑦生涯教育委員会

フレッシュャーズセミナーの開催
 県内各研究会での参加者チェックと日放技への申請等

⑧災害対策委員会

福島県原子力防災訓練等に係る関係機関会議出席
 原子力災害関連の各種研修会への会員派遣

⑨財務委員会

内部監査や中間の監査、期末会計監査等

⑩調査委員会

調査内容の検討

県学術大会での調査報告で発表出来ず県技師会ホームページに掲載

6) 部会報告

放射線管理士部会

避難指示解除地域の線量把握事業への協力

放射線利用に関する啓発活動

福島県原子力災害対策協議会への出席

7) ニュース・会報の発行

①令和2年度 福島県診療放射線技師会ニュース発行

176号 令和2年 5月29日発行 巻頭言 鈴木副会長

177号 令和2年 7月31日発行 巻頭言 阿部副会長

178号 令和2年 9月25日発行 巻頭言 大和田副会長

179号 令和2年11月27日発行 巻頭言 新里会長

180号 令和3年 1月29日発行 巻頭言 鈴木副会長

181号 令和3年 3月26日発行 巻頭言 阿部副会長

②会報発行

令和3年3月31日 第57号

8) 会員に対する表彰 (敬称略)

①(公社)福島県診療放射線技師会 永年勤続(20年)表彰

県北地区 安部 努 (柘記念病院)

小池 沙織 (北福島医療センター)

県南地区 遠藤 怜子 (太田西ノ内病院)

佐藤 秀樹 (塙厚生病院)

佐藤 泰章 (総合南東北病院)

関根 康孝 (太田熱海病院)

会津地区 なし

浜通り地区 なし

②(公社)日本診療放射線技師会 永年勤続(30年)表彰

県北地区 阿部 智 (大原総合病院)

高野 基信 (福島県立医科大学附属病院)

県南地区 なし

会津地区 遠山 和幸 (南会津病院)

浜通り地区 村上 光幸 (いわき市医療センター)

森下 克彦 (なこそ病院)

③(公社)日本診療放射線技師会 永年勤続(50年)表彰

県北地区 なし

県南地区 齋藤 康雄 (個人)

吉田 豊 (個人)

富塚 光夫 (たむら市民病院)

会津地区 なし

④「学術奨励賞・論文賞」

●大原総合病院の村松氏の技師会誌(2020-08号)への投稿論文

「胸部CTにおける被ばく低減機構(Organ Effective Modulation)の出力線量と画質の評

価」

- 大原総合病院の村松氏の日本 CT 技術学会雑誌（2020-8 巻）への投稿論文
「超高精細 CT のボウタイフィルタの違いにおける X 線線質の評価」
- 大原総合病院の村松氏の日本放射線技術学会雑誌（2020-10 月）への投稿論文
「呼吸動態 CT におけるスペクトル解析を用いた呼吸周期の算出法」
- 大原総合病院の村松氏の日本放射線技術学会雑誌（2020-11 月）への投稿論文
「Deep learning reconstruction を用いた超高精細 CT における肺気腫定量解析 逐次近似
応用再構成法との比較」
- 大原総合病院の村松氏の技師会誌（2021-02 号）への投稿論文
「超高精細 CT におけるユニバーサル逐次近似再構成ソフトウェアの特性：逐次近似応用再
構成法との比較」

2. 庶務報告

会員動向（令和 3 年 3 月 31 日現在）

正会員数	令和 2 年度当初	683 名
	令和 2 年度末	661 名
	入会	3 名（転入などを含む）
	退会	25 名（転出などを含む）
	名誉会員数	11 名
	賛助会員	23 社

第1号議案 令和2年度 決算報告

貸借対照表

公益社団法人福島県診療放射線技師会
全事業所

[税込] (単位:円)
令和3年3月31日 現在

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	6,319,436	3,563,701	2,755,735
未収金	380,000	380,000	-
前払費用	66,890	15,912	50,978
流動資産合計	6,766,326	3,959,613	2,806,713
2. 固定資産			
特定資産			
(特定費用準備資金積立特定資	-	20,600,000	△ 20,600,000
(減価償却特定資産)	6,264,928	6,538,815	△ 273,887
特定資産合計	6,264,928	27,138,815	△ 20,873,887
その他固定資産			
建物	6,422,700	-	6,422,700
什器備品	2,647,126	1,862,759	784,367
土地	13,714,596	-	13,714,596
電話加入権	40,000	40,000	-
長期前払費用	89,187	-	89,187
その他固定資産合計	22,913,609	1,902,759	21,010,850
固定資産合計	29,178,537	29,041,574	136,963
資産合計	35,944,863	33,001,187	2,943,676
II 負債の部			
1. 流動負債			
流動負債合計	-	-	-
2. 固定負債			
固定負債合計	-	-	-
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産	35,944,863	32,901,187	3,043,676
(うち基本財産への充当額)	-	-	-
(うち特定資産への充当額)	(6,264,928)	(27,138,815)	△ 20,873,887
2. 指定正味財産	-	100,000	△ 100,000
(うち基本財産への充当額)	-	-	-
(うち特定資産への充当額)	-	-	-
正味財産合計	35,944,863	33,001,187	2,943,676
負債及び正味財産合計	35,944,863	33,001,187	2,943,676

正味財産増減計算書

[税込] (単位：円)

	当年度	前年度	増減
公益社団法人福島県診療放射線技師会	自 令和2年 4月 1日 至 令和3年 3月 31日	自 平成31年 4月 1日 至 令和2年 3月 31日	
I 一般正味財産の部			
1. 経常増減の部			
【経常収益】			
【特定資産運用益】			
特定資産受取利息	1,396	2,573	△ 1,177
【受取会費】			
正会員受取会費	6,330,000	6,580,000	△ 250,000
賛助会員受取会費	690,000	720,000	△ 30,000
【事業収益】			
出版広報事業広告収益	210,000	110,000	△ 100,000
学術研修事業広告収益	-	580,000	△ 580,000
学術研修事業受講料収益	-	38,000	△ 38,000
日放技業務受託料収益	140,400	135,200	△ 5,200
福島県業務受託料収益	-	82,000	△ 82,000
【受取寄付金】			
受取寄付金振替額	100,000	0	100,000
【雑収益】			
受取 利息	59	36	23
経常収益 計	7,471,855	8,247,809	△ 775,954
【経常費用】			
【事業費】			
厚生費	7,920	10,378	△ 2,458
支払手数料	145,456	10,552	134,904
旅費交通費	7,880	244,170	△ 236,290
通信運搬費	562,924	615,942	△ 53,018
減価償却費	236,514	351,770	△ 115,256
消耗品 費	138,862	68,662	70,200
修繕 費	77,000	159,280	△ 82,280
保 險 料	18,480	20,610	△ 2,130
会 議 費	365	185,687	△ 185,322
諸 謝 金	95,000	298,459	△ 203,459
印刷製本費	800,404	1,144,990	△ 344,586
広 報 費	128,250	190,524	△ 62,274
支払負担金	10,000	10,000	-
支払助成金	-	60,000	△ 60,000
事業費 計	2,229,055	3,371,024	△1,141,969
【管理費】			
委託報酬手数料	450,780	457,292	△ 6,512
会 議 費	71,601	295,961	△ 224,360
旅費交通費	157,120	851,140	△ 694,020

減価償却費	38,749	120,864	△	82,115	
通信運搬費	143,847	128,577		15,270	
消耗品 費	231,634	146,573		85,061	
賃 借 料	96,000	96,000		-	
諸 会 費	104,600	105,200	△	600	
支払手数料	117,091	29,984		87,107	
租税 公課	181,100	400		180,700	
水道光熱費	78,599	-		78,599	
保 険 料	95,003	50,410		44,593	
管理費 計	1,766,124	2,282,401	△	516,277	
経常費用 計	3,995,179	5,653,425	△	1,658,246	
当期経常増減額	3,476,676	2,594,384		882,292	
基本財産評価損益等	-	-		-	
特定資産評価損益等	-	-		-	
投資有価証券評価損益	-	-		-	
2. 経常外増減の部					
【経常外収益】	-	181,418	△	181,418	
受取義援金	-	181,418	△	181,418	
【経常外費用】	433,000	281,419		151,581	
貸倒損失	30,000	100,000	△	70,000	
固定資産除却損	403,000	1		402,999	
支払義援金	-	181,418	△	181,418	
他会計振替額					
当期一般正味財産増減	3,043,676	2,494,383		549,293	
一般正味財産期首残高	32,901,187	30,406,804		2,494,383	
一般正味財産期末残高	35,944,863	32,901,187		3,043,676	
II 指定正味財産増減の部					
一般正味財産への振替	△	100,000	-	△	100,000
当期指定正味財産増減	△	100,000	-	△	100,000
指定正味財産期首残高		100,000		-	
指定正味財産期末残高		0		△	100,000
III 正味財産期末残高	35,944,863	33,001,187		2,943,676	

正味財産増減計算書内訳表

【税込】（単位：円）

公益社団法人福島県診療放射線技師会

自 令和 2 年 4 月 1 日

至 令和 3 年 3 月 31 日

科目	公益目的事業会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
1・経常増減の部			
【経常収益】			
【特定資産運用益】			
特定資産受取利息	1,396		1,396
【受取会費】			
正会員受取会費	3,165,000	3,165,000	6,330,000
賛助会員受取会費	345,000	345,000	690,000
【事業収益】			
会報広告料	210,000		210,000
日放技事務業務受託料	140,400		140,400
【受取寄付金】			
受取寄付金振替額	100,000		100,000
【雑収益】			
受取利息		59	59
経常収益計	3,961,796	3,510,059	7,471,855
【経常費用】			
【事業費】			
厚生費	7,920		7,920
支払手数料	145,456		145,456
旅費交通費	7,880		7,880
通信運搬費	562,924		562,924
減価償却費	236,514		236,514
消耗品費	138,862		138,862
修繕費	77,000		77,000
保険料	18,480		18,480
会議費	365		365
諸謝金	95,000		95,000
印刷製本費	800,404		800,404
広報費	128,250		128,250
支払負担金	10,000		10,000
事業費計	2,229,055		2,229,055
【管理費】			
委託報酬手数料		450,780	450,780
会議費		71,601	71,601
旅費交通費		157,120	157,120
減価償却費		38,749	38,749
通信運搬費		143,847	143,847
消耗品費		231,634	231,634
租税公課		181,100	181,100

賃借料		96,000	96,000
諸会費		104,600	104,600
水道光熱費		78,599	78,599
保険料		95,003	95,003
支払手数料		117,091	117,091
管理費計		1,766,124	1,766,124
経常費用計	2,229,055	1,766,124	3,995,179
当期経常増減額	1,732,741	1,743,935	3,476,676
2・経常外増減の部			
【経常外費用】			
貸倒損失		30,000	30,000
固定資産除却損		403,000	403,000
他会計振替額	-	-	-
当期一般正味財産増減額	1,732,741	1,310,935	3,043,676
一般正味財産期首残高			32,901,187
一般正味財産期末残高			35,944,863
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	△ 100,000	-	△ 100,000
当期指定正味財産増減額	△ 100,000	-	△ 100,000
指定正味財産期首残高	100,000	-	100,000
指定正味財産期末残高	0	-	0
正味財産期末残高			35,944,863

*受取会費は公益目的事業会計(共通)に50%、法人会計に50%の割合で按分している

財務諸表の注記

公益社団法人福島県診療放射線技師会

令和2年3月31日現在

【継続企業の前提に関する注記】

該当事項なし

【重要な会計方針】

財務諸表の作成は、「公益法人会計基準」

(平成20年4月11日 平成21年10月16日改正内閣府公益認定等委員会)によっています。

(1). 有価証券の評価基準及び評価方法

該当事項なし

(2). 棚卸資産の評価基準及び評価方法

該当事項なし

(3). 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産：定額法によっています。

(4). 引当金の計上基準

該当事項なし

(5). 消費税等の会計処理

免税事業者であるため、消費税等の会計処理は税込方式によっています。

【基本財産及び特定資産の増減額及びその残高】

[税込] (単位：円)

内容	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
特定費用準備資金積立特定資産	20,600,000	-	20,600,000	-
減価償却特定資産	6,538,815	275,263	549,150	6,264,928
合計	27,138,815	275,263	21,149,150	6,264,928

【基本財産及び特定資産の財源等の内訳】

[税込] (単位：円)

内容	当期末残高	うち指定正味財産 からの充当額	うち一般正味財産 からの充当額	うち負債に対応 する額
特定資産				
減価償却特定資産	6,264,928	-	6,264,928	-
合計	6,264,928	-	6,264,928	-

【担保に供している資産】

該当事項なし

【固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高】

[税込] (単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	6,422,700	-	6,422,700
什器・備品	8,912,054	6,264,928	2,647,126
土地	13,714,596	-	13,714,596
減価償却特定資産	6,264,928	-	6,264,928
合計	35,314,278	6,264,928	29,049,350

【保証債務等の偶発債務】

該当事項なし

【指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳】

[税込] (単位：円)

内容	金額
経常収益への振替額	
学術研修事業用資産の購入による振替額	100,000
合計	100,000

該当事項なし

【関連当事者との取引の内容】

該当事項なし

【重要な後発事象】

該当事項なし

付属明細書

公益社団法人福島県診療放射線技師会

令和2年3月31日 現在

【固定資産の増減内訳】

[税込] (単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
什器・備品	8,401,574	1,462,630	952,150	8,912,054	6,264,928	2,647,126
特定費用準備資金 積立特定資産	20,600,000	-	20,600,000	-	-	-
減価償却特定資産	6,538,815	275,263	549,150	6,264,928	-	6,264,928
合計	35,540,389	1,737,893	22,101,300	15,176,982	6,264,928	8,912,054

【借入金を増減内訳】

該当事項なし

【引当金を増減内訳】

該当事項なし

財 産 目 録

公益社団法人福島県診療放射線技師会
全事業所

[税込] (単位：円)
令和3年3月31日現在

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
流動資産	現金預金	手元保管	運転資金として	58,601	
		普通預金	東邦銀行 福島医大病院支店	運転資金として	6,214,351
		ゆうちょ銀行 仙台貯金事務センター	運転資金として	3,031	
		振替口座			ゆうちょ銀行 仙台貯金事務センター
		未収金	正会員未収会費 令和2年度分 31名	事業費及び法人運営	310,000
			正会員未収会費 (菅野) 平成30年度～令和2年度分	事業費及び法人運営	30,000
	正会員未収会費 (野崎) 平成31年度～令和2年度分		事業費及び法人運営	20,000	
	令和2年度会報広告費 令和2年5月掲載分 コニカミノルタジャパン(株)4月9日入金		事業費として	10,000	
	令和2年度会報広告費 令和2年5月掲載分 GEヘルスケア・ジャパン(株)4月6日入金		事業費として	10,000	
	前払費用	事務所火災保険料 R3/4月から R4/3月分	法人運営のため	66,890	
流動資産合計				6,766,326	
固定資産					
特定資産	減価償却特定資産	定期預金	減価償却資産の取替え 更新のための積立資産	6,264,928	
		東邦銀行 福島医大病院支店			
その他固定資産	建物	福島県郡山市大槻町字原ノ町3番1 軽量鉄骨2階建 140.05㎡	事業実施及び 法人運営のため	6,422,700	
	什器・備品	法人本部	事業実施及び 法人運営のため	2,647,126	
	土地	福島県郡山市大槻町字原ノ町3番1 264.68㎡	事業実施及び 法人運営のため	13,714,596	
	電話加入権	法人本部	法人運営のため	40,000	
	長期前払費用	事務所火災保険料 R4/4月から R5/7月分	法人運営のため	89,187	
固定資産合計				29,178,537	
資産合計				35,944,863	
負債合計				-	
正味財産				35,944,863	

令和2年度 監査報告

監査報告

公益社団法人 福島県診療放射線技師会
代表理事 会長 新里昌一 様

私ども幹事は、公益社団法人福島県診療放射線技師会定款第26条および第45条に基づき、令和2年4月1日から令和3年3月31日までの事業年度の理事の職務執行、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録について監査いたしました。その結果について下記の通り報告いたします。

記

1. 事業報告等の監査結果

事業は、事業計画に従い適正に施行されているものと認めます。

2. 貸借対照表、正味財産増減計算書等の監査結果

貸借対照表、正味財産増減計算書およびその付属明細書ならびに財産目録は、法人の財産および損益の状況について適正かつ正確に示していることを認めます。

以上

令和3年4月22日

監 事

齋藤康雄



監 事

高橋 宏和



以上

令和3年度事業計画（案）

総括

コロナ感染拡大防止のため、令和2年度の第5回理事会を電磁的承認とし、令和3年度の定時総会も異例ではあるが役員改選も含めて紙面上承認とした。

令和3年度は役員改選が行われ、合同委員会を経て各活動が開始される。本会は、事業計画に基づき各委員会、各種研究会が主な活動を行っている。新たな役員による新体制で常設委員会、専門分科会や部会、地区協議会が各事業の企画立案を行い進めて行くようになるが、主だった事業は年間行事予定表に示した。この他にも多くの研究会や講習会があり、福島県診療放射線技師会のホームページを通じて情報を発信するので、是非活用して積極的な参加をお願いする。なお、令和3年度から日本診療放射線技師会の受託事業として、タスク・シフト/シェアの講習会が告示講習として開催される。今年度の大きな事業となるが、何とか進めて行きたい。

令和3年4月に、福島県立医科大学に診療放射線技師養成を含む保健科学部が新設された。福島県診療放射線技師会としても動向に関心を持ち、今後も協力や応援を行っていく。

第10回東北放射線医療技術学術大会（TCRT2020）は、COVID-19の影響を鑑みて開催中止となり、令和3年度に改めて第11回東北放射線医療技術学術大会を10月に本県で開催する予定である。ハイブリッド開催にして、仮想空間での会場設営や機器展示も検討中である。日本放射線技術学会と共に運営計画を進めているので、是非参加していただくと共に演題応募をお願いする。なお、福島県診療放射線技師学術大会は今年も演題募集をせず、講演のみを予定である。

今年度はCT認定講習会の開催も予定している。

会報や年6回発行される福島放技ニュースは、技師会の重要な情報発信の基礎になっている。福島県診療放射線技師会ホームページは、研究会等の開催が出来ない中、COVID-19関係の正しい情報を含めて各種情報を掲載するので活用していただきたい。

放射線に対する正しい知識の啓発活動は、集合が可能になったなら一般公開講座を開催すると共に、各自治体での健康まつりへの参加、ピンクリボン活動等を通じて例年同様に実施していく。

また、福島県原子力防災住民避難訓練等に参加すると共に、緊急被ばく医療への貢献やスクリーニング要員の育成、災害時の緊急連絡体制の整備等を進め、原子力災害医療協力機関としての登録が認められた事に誇りを持ち、放射線管理士部会とも協力関係も継続して、今後の活動を積極的に進めて行く。

4年前より福島県の医療体験セミナーに参加してブースを作り、医療に関心のある中学生に診療放射線技師の仕事について説明しているが、この活動は開催が決まれば今後も継続して行く。

また、郡山市に購入した新事務所を有用に活用して行きたい。ハード面だけではなく、事務員を雇い会員サービス向上を含めたソフト面も活性化を図りたい。

令和3年度は、新事務所の有効利用を図りながら新執行部・理事の新体制のもとで積極的に事業を進めて公益社団法人としての使命を果たし、放射線の正しい知識の啓発、県民の医療の向上に貢献して行く所存である。そのためには、会員の皆様のより一層のご理解、ご協力が不可欠であるので宜しくお願いしたい。

第2号議案 令和3年度事業計画 (案)

1. 定款に基づく事業

(1) 診療放射線技術の向上発展に関する事業

- 1) 福島県 MRI 技術研究会の開催
- 2) 福島県 CT テクニカルセミナーの開催
- 3) 福島県画像技術研究会の開催
- 4) 福島県デジタル画像研究会の開催
- 5) 福島県乳腺画像研究会の開催 (共催事業)
- 6) 福島県消化器研究会の開催 (共催事業)
- 7) 福島県放射線治療技術研究会の開催 Web 開催も含める
- 8) 福島県診療放射線技師会学術講演会の開催 (主催事業)
- 9) 福島県臨床画像研究会の開催 (放射線医師会との共催事業)
- 10) 福島県放射線管理士部会セミナー・研修会の開催 (共催事業)
- 11) 福島救急撮影カンファレンスの開催 (共催事業)
- 12) 放射線機器管理士分科会研修会の開催 (日放技分科会との共催事業)
及び機器管理士部会の創設への援助
- 13) 各地区協議会主催研究会の開催
- 14) その他、診療放射線技術の向上に関する事業
- 15) 福島医科大学新学部との相互協力関係の維持

(2) 診療放射線に関する知識の普及啓もうに関する事業

- 1) 県民に対する放射線被ばくや放射線診療に関する啓もう活動の実施
- 2) 各自治体が開催する「健康まつり」への参画
- 3) ホームページによる一般向け情報の提供
- 4) 医療体験セミナーでの中学生への診療放射線技師の活動紹介
- 5) その他、診療放射線に関する正しい知識の普及啓もうに関する事業

(3) 診療放射線による検査技術の向上および職業倫理の高揚に関する事

- 1) 福島県診療放射線技師学術講演会の開催
- 2) フレッシュアップセミナーの開催 (日本診療放射線技師会との共催事業)
- 3) 第11回東北放射線医療技術学術大会 (TCRT2021) 開催協力 (共催事業)
- 4) その他、診療放射線技師による検査技術向上及び職業倫理の高揚に関する事業

(4) 診療放射線技術を通じての地域医療の推進に関する事業

- 1) 福島県生活習慣病検診従事者指導講習会の開催 (福島県からの受託事業)
- 2) 各施設の X 線撮影装置の精度管理
X 線アナライザー「ピラニア」の貸し出しと精度管理
- 3) 福島県内における診療放射線技師の実態調査
- 4) 災害時緊急連絡体制の整備
- 5) 緊急被ばく医療防災事業への協力
 - ① 令和3年度福島県原子力防災住民避難訓練に参加及び緊急時通信連絡訓練の参加
 - ② 避難解除地域帰還者の WBC 測定結果説明への要員派遣
(原子力安全協会からの要請支援)
 - ③ 福島県緊急被ばく医療活動マニュアル検討部会への参画
 - ④ 緊急被ばく医療講座・研修会への参加
 - ⑤ 避難退域時検査要員の育成と派遣
- 6) 乳がん啓発キャンペーン ピンクリボン活動への参加協力

- 7) 各市の乳がん検診読影会への参加協力
- 8) その他、診療放射線技術を通じての地域医療の推進に関する事業

(5) その他目的を達成するために必要な事業

- 1) 第10回(令和3年度)公益社団法人福島県診療放射線技師会定時総会の開催
- 2) 理事会の開催(5回)、執行部会(1回)、各委員会の開催
- 3) 福島放技ニュース(6回)の発行と電子化の検討、会報(1回)の発行
- 4) 表彰及び他団体での表彰該当者の推薦
- 5) 会員数増加を目指す勧誘活動
- 6) ホームページによる会員向け情報の発信
- 7) ホームページによる求人情報の提供
- 8) 会員メールマガジン・各委員会メーリングリストの維持管理
- 9) 年会費納入の推進
- 10) 公益社団法人10周年記念誌発行の準備
- 11) その他、目的を達成するために必要な事業

以上

令和3年度 年間行事予定表 (案)

下記行事は計画で、諸般の事情により変更する場合があります。

開催	(公社) 福島県診療放射線技師会	(公社) 福島県診療放射線技師会主催外
4月	臨時理事会 (紙面上採決)	日本放射線技術学会総会
5月	定時総会 (役員改選・紙面上採決) 第1回理事会 (Web開催)	
6月	福島県MRI技術研究会 フレッシュャーズセミナー 合同委員会 (Web開催)	日本診療放射線技師会定期総会
7月	第2回理事会 (Web開催) 県南サマーセミナー 県北地区夏期勉強会	
8月		医療画像情報精度管理士セミナー (郡山市)
9月	第3回理事会 (太田西ノ内病院) 浜通り地区夏期研修会	東北CT技術研究会
10月	福島県消化器研究会 福島県デジタル画像研究会 救急撮影カンファレンス	日本放射線技術学会秋季学術大会 ピンクリボン in 郡山 第1回東北会長及び教育委員合同会議 (福島) 第11回東北放射線医療技術学術大会 (福島)
11月		福島県原子力防災訓練 第37回日本診療放射線技師学術大会 CT認定技師講習
12月	第4回理事会 (太田西ノ内病院)	
令和3 年1月	福島県画像技術研究会 県南地区新年勉強会 県北地区新年勉強会	
2月	福島県生活習慣病検診従事者講習会及び 消化器研究会 福島県診療放射線技師学術講演会 総務企画委員会 浜通り地区相双画像勉強会	第2回東北会長及び教育委員合同会議
3月	第5回理事会 (医大)	

2019年末より新型コロナウイルスが猛威を振るい、技師会活動にも大きな影響を与えている。年間行事予定表を掲載するが、各研究会・学会の延期や中止が相次いでいるので、福島県診療放射線技師会ホームページ等での開催確認等をお願いする。

3号議案 令和3年度予算 (案)

令和3年度 見込正味財産増減計算書

[税込] (単位:円)

令和3年4月1日～令和4年3月31日

科	目	当年度	前年度	増 減
I	一般正味財産増減の部			
	1. 経常増減の部			
	(1) 経常収益			
	特定資産運用収入	1,000	3,000	-2,000
	特定資産運用収入			
	受取会費			
	正会員受取会費	6,200,000	6,500,000	-300,000
	賛助会員受取会費	720,000	690,000	30,000
	事業収益			
	出版広報事業広告収益	200,000	150,000	50,000
	学術研修事業広告収入	300,000	500,000	-200,000
	啓もう普及事業収入	100,000	100,000	0
	受取補助金等			
	受取福島県助成金	82,000	82,000	0
	受取負担金			
	委託事業負担金	130,000	130,000	0
	雑収益			
	受取利息	1,000	100	900
	雑収入	1,000	0	1,000
	経常収益 計	7,735,000	8,155,100	-420,100
	(2) 経常費用			
	事業費			
	会議費	400,000	200,000	200,000
	旅費交通費	300,000	300,000	0
	通信運搬費	800,000	750,000	50,000
	減価償却費	300,000	400,000	-100,000
	印刷製本費	1,500,000	1,300,000	200,000
	広報費	300,000	300,000	0
	消耗品費	120,000	100,000	20,000
	修繕費	200,000	300,000	-100,000
	保険料	20,000	25,000	-5,000
	厚生費	20,000	20,000	0
	諸謝金	350,000	300,000	50,000
	支払助成金	0	150,000	-150,000
	支払負担金	0	10,000	-10,000
	手数料	20,000	15,000	
	雑 費	100,000	10,000	90,000
	事業費 計	4,430,000	4,180,000	250,000

科 目	当年度	前年度	増 減
管理費			
業務委託費	460,000	340,000	120,000
会議費	100,000	400,000	-300,000
旅費交通費	300,000	1,000,000	-700,000
通信運搬費	150,000	250,000	-100,000
什器備品費	150,000	600,000	-450,000
減価償却費	655,000	200,000	455,000
消耗品費	200,000	450,000	-250,000
貸借料	30,000	96,000	-66,000
諸会費	120,000	120,000	0
人件費	800,000	0	800,000
保険料	50,000	60,000	-10,000
租税公課	5,000	1,000	4,000
水道光熱費	90,000	0	90,000
手数料	20,000	40,000	-20,000
雑 費	20,000	20,000	0
管理費 計	3,150,000	3,577,000	-427,000
経常費用 計	7,580,000	7,757,000	-177,000
評価損益等調整前当期経常増減額	155,000	398,100	-243,100
基本財産評価損益等			
特定資産評価損益等			
投資有価証券評価損益等			
当期経常増減額	155,000	398,100	-243,100
2. 経常外増減の部			
(2) 経常外収益			
経常外費用			
当期経常外増減額			
他会計振替額			
当期一般正味財産増減額	155,000	398,100	-243,100
一般正味財産期首残高	35,944,863	32,901,187	3,043,676
一般正味財産期末残高	36,099,863	33,299,287	2,800,576
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高			0
指定正味財産期末残高			
III 正味財産期末残高	36,099,863	33,299,287	2,800,576

第4号議案 定款改定（事務所所在地の移動 福島市から郡山市）

新事務所を郡山市大槻町原ノ町3-1に購入した。現在の事務局長自宅から事務所を移転するため定款改正を行う。

改正前（事務所）

第2条 この法人は、主たる事務所を福島県**福島市**に置く

↓

改正後（事務所）

第2条 この法人は、主たる事務所を福島県**郡山市**に置く

第5号議案 会員除名について

下記のもの、第10回（令和3年度）公益社団法人福島県診療放射線技師会定時総会で議決により除名処分とする。

地区 菅野 理紗 氏（個人）

平成30年度、平成31年度（令和元年度）、令和2年度 会費未納
再三にわたる催促及び弁明の機会付与を行ったが無回答

第6号議案 令和3－4年度役員選任について

令和3－4年度理事・監事選出は紙面信任投票による表決となります。

第7号議案 会長・副会長の選出について

定款第23条第2項より、理事会は、会長ならびに副会長を選定および解職する。一方、同項では「理事会は、総会において別に定める役員選出規程により会長候補者ならびに副会長候補者を選出し、理事会において当該候補者を選定する方法によることができる。」定めがあります。本議案は、理事会にて会長ならびに副会長を選定することを問う議案となります。

（賛成）：理事会で会長ならびに副会長を選定する。

（否決）：総会において会長候補者ならびに副会長候補者を選出し、理事会において当該候補者を選定する。

※「否決」の場合は、別日に臨時総会を開催し、会長候補者ならびに副会長候補者を選出します。

第8号議案 その他